

私の誕生日

動画リンク: <https://youtu.be/KcVsGbziyvk>

今回は「私の誕生日」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+ 20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■自己紹介

私の名前は鈴木健一です。今年で25歳になりました。趣味は、サッカーと読書です。とくに、友達とするサッカーが大好きです。そして、休日にコーヒーを飲みながらゆっくり読書をするのも好きです。

私にとって誕生日は、とても特別な日です。この日は、たくさんの人に「おめでとう」と言ってもらえるうれしい日です。それに、自分が生まれた日を思い出す日でもあります。この日には、今まで支えてくれた家族や友達に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

日本では、誕生日にケーキを食べたり、プレゼントをあげたりすることが多いです。たとえば、友達や家族がサプライズやパーティーをしてくれることもあります。特別なプレゼントを用意して、みんなで歌を歌ったり、写真を撮ったりします。大人になると、友達と食事に行ったり、自分の好きなことをしてのんびり過ごす人もいます。

このように、誕生日は年齢に関係なく、特別な日です。誰かと一緒に楽しい時間を過ごしたり、自分を大切にしたりするきっかけになります。

今回は「誕生日」にまつわるさまざまなエピソードについて紹介していきます。
誕生日は、自分が祝ってもらっただけでなく、友達や家族を祝う日でもありますよね。その中で感じた喜びや感謝、思い出に残る瞬間について、一緒に振り返っていきたいと思います！

■初めての覚えている誕生日

私が覚えている初めての誕生日は、5歳のときでした。その日は、家で家族がパーティーをしてくれました。母が作ったイチゴのケーキが、とてもおいしかったのを覚えています。ケーキの上には、大きな「5」のかたちをした口ウソクがのっていました。それを吹き消したとき、みんなが笑顔で拍手をしてくれて、とても楽しい気持ちになりました。

その誕生日では、プレゼントがとても印象に残っています。父からもらった赤いおもちゃの車は、ボタンを押すと音が出て走り出す仕組みでした。それがとても気に入って、その後何日も遊びました。父が「元気に大きくなってね」と言ってくれたとき、私は照れくさいけれど、うれしい気持ちでいっぱいでした。

もうひとつ特別だったのは、母が準備してくれた飾りつけです。リビングには、たくさんのカラフルな風船が飾られていました。それを見たとき、まるで夢の中にいるような気持ちになりました。また、部屋には「お誕生日おめでとう」と書かれた大きなカードがありました。それを母が自分で作ってくれたと聞いて、とても感動しました。

子どものころの誕生日は、家族にとっても特別な日だと感じました。家族が自分のために用意してくれた時間やものが、私にとって大切な思い出となりました。

■学生時代の誕生日

学生時代の誕生日で一番思い出に残っているのは、高校3年生のときです。その日は平日で、朝から少しそわそわしていました。学校に着いて教室に入ると、なんと私の机の上にたくさんのお菓子が置いてありました。スナック菓子やチョコレート、クッキーなど、色とりどりのお菓子が山のようになっていて、びっくりしました。

友達が「お誕生日おめでとう！」と言いながら集まってきて、笑顔で祝ってくれました。お菓子のひとつひとつに、「いつもありがとう！」や「素敵な1年にしてね！」といったメッセージが書かれていました。それを見たとき、友達が私のために時間を使って準備してくれたことが分かって、心がとても温かくなりました。

がっこう お のち ともだち うた うた
学校が終わった後、友達みんなで「ハッピーバースデー」の歌を歌ってくれました。みんな えがお はくしゅ すこ て
ました。みんな笑顔で拍手をしてくれて、少し照れくさかったですが、とても幸せな気持ちになりました。その瞬間、自分が周りに大切にされていることを実感しました。

いえ かえ はは わたし す つく ま
家に帰ると、母が私の好きなハンバーグを作って待っていました。テーブルには小さなケーキもあって、家族みんなで「おめでとう！」と言いながらお祝いをしました。その日は、学校でも家でもたくさんの人に祝ってもらえて、まるで夢のような1日でした。

こうこう じだい たんじょう び ともだち かぞく きずな ふか かん とくべつ ひ じぶ
高校時代の誕生日は、友達や家族との絆を深く感じられる特別な日でした。自分が誰かに大切にされていることを感じると同時に、周りの人への感謝の気持ちが自然と湧いてきた1日でした。

■ 家族との誕生日

かぞく たんじょう び
家族と過ごした誕生日の中で、特に思い出に残っているのは、私が12歳になったときの誕生日です。その日は土曜日で、家族全員が家にいて、一緒にお祝いをしました。

はは あさ いそが きょう とくべつ ひ わたし す
母は朝からキッチンで忙しくしていて、「今日は特別な日だから」と私の好きな料理をたくさん作ってくれました。焼きたてのピザやフライドチキン、ポテトサラダなど、まるでパーティーのような食卓が準備されました。テーブルの真ん中には、大きなイチゴのショートケーキが置いてありました。そのケーキには、カラフルなキャンドルが12本立っていて、それを見たとき、とてもワクワクしました。

ちち わたし しゅみ あ ようい わたし ほ
父は私の趣味に合ったプレゼントを用意してくれていました。それは、私が欲しいと言っていた本のセットでした。包装紙を開けるとき、とてもドキドキしましたが、中から大好きなシリーズの本が出てきて、驚きと喜びでいっぱいになりました。父が「これを読んで、たくさん学んでね」と言ったとき、私は大きな声で「ありがとう！」と伝えました。

いもうと わたし たんじょう び いわ ちい てづく
妹も、私の誕生日をお祝いしてくれました。小さなカードを手作りしてくれて、そこに「おにいちゃん、おたんじょうびおめでとう」と書いてありました。子どもながらに一生懸命作ってくれたことが伝わってきて、とても感動しました。

家族と過ごす誕生日は、いつも温かくて幸せな時間です。家族が私のために準備してくれた料理やプレゼント、そして優しい言葉が、私にとって何よりの宝物です。

■特別だったある年の誕生日

私が今までで一番特別だと感じた誕生日は、恋人と過ごした時のことです。その日は何も予定を聞いていなかったのですが、普通の日になると思っていました。でも、恋人が「今日は特別な日だから」と言って、私のためにプランを考えてくれていました。

まず、お昼に待ち合わせをして、最初に行ったのは私がずっと行きたかったパスタ屋さんでした。そこで私の好きなパスタを注文し、二人でゆっくり話をしながら食事を楽しみました。恋人は、「ここに来たかったって前に言ってたよね」と覚えてくれていて、その言葉がとても嬉しかったです。

その後、恋人が私をお気に入りの公園に連れて行ってくれました。そこには大きな芝生が広がっていて、二人でのんびり過ごしました。そのとき、恋人が私に手紙を渡してくれました。その手紙には、「いつもありがとう。これからも一緒に笑顔で過ごそう」と書かれていて、思わず涙が出そうになりました。

夜は、少し高めのレストランでディナーをしました。予約が必要なレストランで、夜景がとてもきれいに見える場所でした。誕生日用に特別なデザートプレートを用意してくれていて、店員さんが「お誕生日おめでとうございます」と声をかけてくれました。食事をしながら話しているとき、恋人が「これ、誕生日プレゼントだよ」と小さな箱を差し出してくれました。中には私の好きなブランドのアクセサリーが入っていて、驚きと感動で胸がいっぱいになりました。

この誕生日は、恋人が私のことを大切に思ってくれていると感じた日でした。サプライズや特別な時間だけでなく、手紙やプレゼントに込められた気持ちが何よりもうれしかったです。この日を思い出すと、今でも心が温かくなります。

■誕生日を祝う楽しさ

誕生日は、祝ってもらうのがうれしい日ですが、人の誕生日を祝うこともとても楽しいです。特に、友達の誕生日を計画した時のことが、思い出に残っています。

その友達は大学でいつも一緒に講義を受けたり、ご飯を食べたりしている仲の良い人でした。誕生日が近づいていたので、友達グループみんなでサプライズを計画しました。当日は、講義が終わったあとにカフェに誘い、友達を連れて行きました。カフェの個室を借りて、風船や飾りつけで華やかにデコレーションしておきました。

友達が部屋に入った瞬間、みんなで「お誕生日おめでとう！」と声をそろえて言いました。そのときの友達の驚いた顔と「えっ、すごい！ありがとう！」と嬉しそうに笑った表情を、今でもよく覚えています。その後、手作りのケーキをみんなで食べたり、小さなプレゼントを渡したりして、とても楽しい時間を過ごしました。

プレゼントもみんなで考えました。一人ひとりが小さなプレゼントを用意して、それを集めて大きな箱に入れました。箱を開けたとき、友達が「全部私の好きなものだ！」と言って、とても喜んでくれたのがうれしかったです。また、私の誕生日を友達が祝ってくれたときも、とても感動しました。私が好きなお菓子をたくさん用意してくれたり、手作りのカードをくれたりしました。そのとき、祝ってもらうこと以上に、友達の優しさや思いやりが伝わってきて、胸がいっぱいになりました。

誕生日は、ただお祝いをするだけの日ではありません。それは、友達や家族と特別な時間を共有し、感謝の気持ちを伝え合う日だと思います。そして、誰かを祝うことで、その人の笑顔を見るのが、自分にとってうれしいことだと感じます。

■誕生日と成長を感じる日

誕生日は、年齢を重ねるたびに、自分の成長を振り返る特別な日です。子どものころは、ただ楽しいイベントだと思っていましたが、年齢を重ねるにつれて、誕生日が少しずつ違う意味を持つようになりました。

小学生のころ、誕生日はおもちゃやケーキが楽しみで、次の誕生日が待ち遠しいものでした。でも、学生時代になると、友達や家族に「おめでとう」と言われることがうれしくなり、自分が周りの人に支えられていると感じる日になりました。

そして大人おとなになった今いま、誕生日たんじょうびは、自分じぶんの目標もくひょうやこれまでの成長せいちょうを考えるとかんがひになりました。今年ことしは、去年きょねんと比べてくらどんなことができるようになったのか、どんな経験けいけんをしたのかを振り返りむかます。また、誕生日たんじょうびを迎えるたびに、「これからももっと頑張ろう」という気持ちきもちが湧いてきます。

特に印象的とくだったのは、仕事いんしょうてきを始めてからの誕生日しごとです。新しい環境あたで、いろいろあたらなことを学びながら過かした一年かんきょうを振り返ると、自分が成長あたらしたと感かんじる瞬間しゅんかんがありました。同時に、もっと成長せいちょうするために何をすべきかなにを考えるとかんがきっかけにもなりました。

誕生日たんじょうびは、自分じぶんを見つめ直しみ、これからなの目標もくひょうを考えるとかんがひです。そして、周りまわの人への感謝かんしゃの気持ちきもちを改めて感あじる日ひでもあります。これからも、誕生日たんじょうびをただのイベントではなく、成長せいちょうを感かんじる大切な一日いちにちにしていきたいと思おもいます。

■これからの誕生日たんじょうびに向けて

これから迎える誕生日むかは、もっと特別とくべつなものにしたいと思おもっています。ただ祝いわってもらっただけでなく、自分自身じぶんにとっても意味いみのある日ひになるようにしたいです。

次つぎの誕生日たんじょうびには、これまでの一年間いちねんかんで頑張がんばったことや挑戦ちょうせんしたことを振り返りむかたいと思おもいます。そして、「今年ことしはこんなことができた」「ここが成長せいちょうした」と感かんじられるように、一日一日いちにちいちにちを大切に過たしていきたいです。また、新しい一年あたらに向けて、どんな目標もくひょうを立てるのかを考えるとかんがの楽しみたのみのひとつです。

誕生日たんじょうびを迎えるときには、周りまわの人たちへの感謝かんしゃの気持ちきもちも忘れたくありません。家族かぞくや友達ともだち、同僚どうりょうなど、いつも支さえてくれる人ひとたちに「ありがとう」と伝えられる日ひにしたいです。また、自分じぶんが他の人ひとの誕生日たんじょうびを祝いわうときのように、周りまわの人が喜よろこぶことを考えながら、自分じぶんの誕生日たんじょうびを楽したのみたい思おもいます。

さらに、特別とくべつな経験けいけんをすることも計けい画かくしています。たとえば、旅行りょこうに出でかけたり、今いままで行いったことがない場所ばしょで新あたらしい体たい験けんをしたりするのも良よいと思おもいます。それが素敵すてきな思おもい出でとなり、また一年いちねん頑張がんばろうというエネえルギるーになりそうです。

誕生日は、年齢を重ねることを楽しむ日でもあります。新しい年齢を迎えることをポジティブに受け止め、「もっと良い自分になるう」と思えるきっかけにしたいです。これからも誕生日を心から楽しみ、感謝と成長の一日にしていきたいとおもいます。

「私の誕生日」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

